

牧之原市菊川市学校組合教育委員会臨時会 会議録

令和7年8月21日、牧之原市菊川市学校組合教育委員会臨時会が牧之原市役所相良庁舎に招集された。

この委員会に付議するため、委員長の告示した議案は次のとおりである。

付議議案

協議第2号 牧之原市菊川市学校組合（仮称）小中一貫教育推進計画（案）について

出席委員

1番 橋本 勝	事務局	教育文化部長	竹内英人
2番 近江賢市		学校教育課長	小倉圭司
3番 八木香代子		学校教育課教育コーディネーター	
4番 永田康彦			大石友巳
5番 山本和波		学校再編推進室長	小塚康道
		学校再編推進室主幹	石川奈美
		社会教育課長兼	
		大河ドラマ活用推進室長	本杉裕之
		スポーツ推進課長	佐々木悟
		教育総務課課長	永野智芳
		教育総務課主幹	飯田隆太

開会時刻 午後1時30分 牧之原市役所相良庁舎3階庁議室

教育長挨拶

お盆明け以降も猛暑が収まる気配はなく、少なくとも今月いっぱいには厳しい暑さが続く見込みとか。小中学校の夏休みも残り少なくなり、来週から新学期が始まる。学校を離れ、家族と共に過ごした夏休み。リフレッシュし、蓄えたエネルギーをこの先様々な挑戦に費やしてほしい。

会議録署名人の決定（事務局より指名）

教育長と山本委員を指名

協議第2号 牧之原市菊川市学校組合（仮称）小中一貫教育推進計画（案）について
（教育総務課長より説明）

教育総務課長

大きい1番、2～4ページについていかが。

近江委員

富士山型ネットワークは、具体的にどのような計画か。

教育文化部長 都市計画マスタープランの中でそのような表現をしている。榛原・相良の市街地と IC 北側の高台エリアを、海岸線側を裾野、高台を頂点とする形を称して富士山型ネットワークの整備と謳っている。旧市街地と高台エリアが充実することで、都市機能がお互いに補い合う、ネットワークの中でのまちづくりを目指している。公共施設も 3 エリアそれぞれには作れないので、各エリアの特色を持たせたまちづくりをしようというもの。注釈を簡単に入れた方が分かりやすいと思うので、追記させていただく。

教育総務課長 (全委員意見なし) 大きい 1 番についてはよろしいか。

教育総務課長 大きい 2 番、5～8 ページについていかが。

近江委員 児童数の表について、R12 までの減少具合が思ったより多いが、これは出生数か。

学校再編推進室主幹 県調査の基準による数字であり、出生数だけでなく、新入学者の増減率を勘案したもの。

近江委員 教育活動の状況について、牧之原小中学校は保育園と同一敷地内にあるということで、保育園との連携も意識的に行われてきたと思うが、そういうところは入れられないか。

学校教育課長 13 ページの保育園との円滑な接続というところを見据えて、小 1 プロblemの解消も含めて、今架け橋期のプログラムの作成を行っている。7 ページの小中連携事業には含まれていないため、分かれた形で掲載しているが、そうした取組は行っている。

学校再編推進室主幹 (3) に保育園との接続の話を入れて、地域との連携を (4) とする。プログラムを作る以外にも、茶園で一緒にやったり、小学校の一日体験などの接続をしていたりするので、内容を確認して、現状やっているものは状況として書かせていただくことにする。

近江委員 本計画とは関係ないところで、保育園の耐用年数もそろそろ限界にきていると思うが、その辺はどのような見通しか。管轄外だが分かれば知りたい。

教育総務課長 具体的にどうするという話が出ていない。築年数経っていることは、担当部局で確認している。

教育文化部長 市内の幼稚園・保育園は、こども園化と合わせて、事業団をつかって民間に移管している。そうすることで、園舎の建て替え等の補助金が有利になるということで、順次進めている。

牧之原保育園は組合立なので、この流れにそのまま入るとは限らないが、検討はしていると思う。

教育総務課長 ほかはよろしいか。

(全委員意見なし)

教育総務課長 大きい3番、9～10ページはいかがか。

近江委員 3番の上から5行目は、中学校3年では。

教育総務課長 中学校3年に修正する。

学校再編推進室主幹 ここは、義務教育学校でなく小中一貫校とは何かということが分かるようにとの意見があったので、その解説を少し入れてみた。

近江委員 今の牧之原小中学校が小中一貫校になるには、どのような手続きが必要か。

学校再編推進室主幹 小学校、中学校のままなのでそこは特に不要だが、カリキュラムを小中一貫教育としてつなげるような教育課程にしていくなかには、文科省への届出が必要になる場合がある。どの程度まで行かによって、届け出が必要かどうかが変わる。

山本委員 この計画を見た時に、保護者から見て何が変わるのか。保護者目線で気にする人が多いと思う。あくまでも義務教育学校にするために一貫校にするということで、今とあまり変わらないのか。

学校再編推進室主幹 PTA組織等は一つにしたいということで計画に記載しているが、この学校の形態のところでも、PTA組織を一つにすることが可能との話を入れた方が良いか。

山本委員 特に変わらないのであればそれでもいい。無理に違いを見つける必要はないが、保護者から具体的に何が変わるのと聞かれたときに、そんなに変わらないという話なのか。中学校の先生が小学校に教えに来るくらいか。

教育長 小中の連携は、今も先取りしてやっている。何もやっていないのであれば変わるイメージが湧くが、既に施設一体でない中での取組をしているので、少しは変わるかと。

山本委員 アンケートを取る中で、保護者からそういう意見が結構出てきそうな気がした。今も実際にやっているのであれば、アンケートを取る意味もあまりないような気もした。

教育総務課長 何が変わるのかという質問の答えとして、教育課程の関係や、施設が一体型になるのに加えて、校長先生を1人にしたり、職員室やPTAも小中一体の組織とするということを並べて、結構変わるんだなという印象にはならないか。

書き方として方針と計画に分けたのは、いきなり細かいことを出すよりも、全体的な考え方という意味合いで方針ということで書いて、細かいところは計画にそれぞれ書いていった方が見やすいかというところがある。

学校再編推進室主幹 ここは方向性が分かればよいというところだが、10ページの余白が大きいことが気になっている。

教育文化部長 これは案なので、余白に写真を入れたりなど構成は考えているところだが、その中で委員が仰るような素朴な疑問に対して答えるようなものが、余白もあるので、差し込む余地はある。

学校再編推進室主幹 国の計画にもコラム的に色々入っていたり、簡単な Q&A が入っていることもあるので、この計画に差し込むことはできる。ただ、後ろに具体が入っており、ここで具体的な Q&A を出すと違和感があるので、構成は少し考える。

山本委員が仰るように、保護者に意見を聞くのであれば、これだけを投げて聞くのは乱暴なので、こんなことが変わるといことが分かるように1ペーパーくらいで分かるものを示さないと、難しいと思っている。

教育長 現行こうしている、10年度にはこう変わりますというものがあればわかりやすいかもしれない。

学校再編推進室主幹 例えば、段階的に今こうです、小中一貫校はこうです、義務教育学校だとなりますということが見えていくと良いかもしれない。

近江委員 方向性のところで、縦横斜めだが、縦だったら1～6までの縦と1～9までの縦とで長さが変わる中で、子供たちが直接一緒に活動する年代幅が増える。6年間から9年間という広さが出てくる。そのことで横の関係の作り方も、先輩のあり様を見て自分を振り返るような場面もあるかもしれないし、横の環境の変化も影響してくるのではと感じている。縦の関係が増えとこんな風が変わる、斜めが充実することで子供たちがどのようなことを学んでいくのかということ、もう少し具体的に入れるともっと分かりやすくなるのでは。横の関係が一番の課題で、単学級の中で中々ぐちゃぐちゃした関係になってしまうところがあるので、そういうところも縦の関係がもっと広がっていくことで変わっていく部分もあるのでは。

学校再編推進室主幹 縦と斜めがこう変わる、それが子どもたちにどう影響すると

ということ、縦と斜めが変わることで横の関係にも影響がある
ということを具体的に書くことで、より効果が見えやすいと
いうことか。

永田委員

先日の呉の校長先生の話にあったことだが、小中一貫校にし
たことで1～9年生の結びつき、お互いフォローし合ったり
見本にする良い関係が構築できていますということをよく言
われていたので、その辺のメリットを盛り込んだらいい。

教育総務課長

ほかはよろしいか。

(全委員意見なし)

教育総務課長

大きい4番の1、11～13 ページはいかがか。

近江委員

推進していくにあたって、実際に行うのは牧之原小中学校の
先生方なので、先生方がどのような受け止めをされているの
か、この前の講演会を通して、校長先生の話をもとに受け
止められたのか分かるのであれば教えてほしい。

学校教育課長

牧之原小中学校の教員を取り出してアンケートを見たわけ
ではないが、8月5日の全体研修会の後に、牧之原小中学校の
先生が集まって、どうやって小中一貫にしていくかという校
内研修に行ってきた。その時の雰囲気と言うと、昨年から急
激に決まってきた内容ではあるので、多少の迷いを感じなが
らも、一緒にできることや面白くなりそうなこと、私たちの
学校にしかできないことをたくさん見つけていこうという雰
囲気になってきたと感じた。呉の先生にもっとこういうこと
を聞いてみたかったという発言も出ていて、前向きに9年間
でできることを考えようという雰囲気であると認識している。

教育長

段々と具体的に迫ってきている。やらなくちゃいけないとい
うところまで意識が高まっている。もちろん不安な要素もあ
ると思うが、遠い未来のことがすぐそこまで来たという感じ
は受けている様子。

近江委員

個別最適な学びというところで、教室に入ることが難しい子
供については校内に安心できる居場所をつくるということで、
中学校でスタートした。色々な問題点も出てきていると思う
が、できれば小学校の方がもっと低学年で出れないという子
の方が、より難しいかと思うが、そういう場所を小学校にも
作っていただけると嬉しい。今の中学校の現状をわかる範囲
でいいので教えてほしい。

学校教育課長

牧之原中学校は部屋すら設けられていなかったもので、今年急
遽となったが、つくってよかったということしかないと聞い

ている。うちの子はどこに行けばいいのかと思っていた保護者や子供たち本人もいたと思うが、行き場所ができた。その中で決して勉強しなくてもいいというところからのスタートをしてくれたおかげで、最近は自分で勉強するようになってきたというものの、最初はただ居だけでも許したところも含めて、進んで家を出てそこに行けるようになったのはメリットしかなかったと聞いている。小学校も、規模にもよるが全国的に必要なだということは広く言われるようになってきたので、そういう認識を持って対応していく必要があると考えている。

教育長

表記としては居場所をつくるということにとどめさせてもらって、小学校中学校にどのようにという具体的なところは、検討していく中で必要に応じて居場所をつくるということかどうか。場所は確保できるが、対応できる職員を配置しないと厳しい。

学校再編推進室主幹

校内教育支援センターと書いてしまってもいいかと思った。小学校も、職員室の横に教室に行けない子のための、休憩室を替えたような部屋があった記憶がある。職員については、今年から国の方で新たな予算措置をして、支援員にお金をつけるという動きがあるようである。条件がまだ分からないので、とりあえずここに教育支援センターと書いておいて、補助金を取りに行くかどうかというのものもある。

学校教育課教育コーディネーター

国レベルでは全然、検討段階だと思う。

学校再編推進室主幹

後半に、意識して学習面のサポートというところを書いているが、一気にそこまでいくことがプラスなのか、とりあえず居場所なのかというところだが。

近江委員

小中両方作りますと書いてくださいというわけではない。方向性として小学校にもできればという話を伺い、ありがたいと思った。

学校再編推進室主幹

仮に職員室が中学校側になるとすると、例えば職員室の近くの方が良いとなれば、小学生も中学生も中学校の校舎に行ってもいいかと思う。意味合いとして、それぞれの校舎にほしいということではなく、小学生も中学生も両方行ける場所があればいいということか。

近江委員

具体的なものがあるわけではないが、どういう形であれ、職員の総意でこういう形で作ろうとなってくれたらありがたい。

教育長
近江委員

先ほどの保育園の話がここに出てくるが、この辺はどうか。架け橋期のプログラムだけではなくて、例えば小学校の運動会だったら保育園の子たちの年中・年小がそれぞれ一緒に参加できる種目があって一緒に運動会をやっていると思うし、中学校の家庭科の授業の中で保育学習として園児と接するなど、色々な活動が保小の一つのギャップのようなものを減らしていったような気がする。

教育長

プログラムの中の取組には、今仰ったものも入ると思う。行事や授業などの活動の中で、保育園とのつながりをやっているということを表記した方が良いのではとの意見だと思うが、これがプログラムの一部分なのであれば、網羅はされている。

学校再編推進室主幹

7ページの教育活動の状況に（3）として保育園との接続を入れるということで、そこに保育園と学校との関わりを入れていく。そうすると、合同行事など現状行っているものが入ってくる。13ページには今円滑な接続しか書いていなくて足りないのではということであれば、「現在の活動を充実するとともに、更に円滑に移行できるようにプログラムを作成します」という言葉を入れることで、行事の方も補える。また、プログラムがどのようなものかを注釈に入れさせていただくのはどうか。

山本委員

架け橋期のプログラムの注釈は入れてもらって、あと具体的なことは今も書いているので、7ページの（3）に項目をつくって載せる必要はないのかと思った。あまり具体例を書いても逆にわかりにくくなってしまうのもある。保護者も、保育園と今も連携してやっていることはある程度知っていると思うので、あまり書かなくても。これだけ書いているので、自分はプログラムの説明を書いたら大丈夫だと思う。プログラムは現在作成している途中だと思うので、作成しますよりは、作成していますの方が進行形になって良いのではと思った。先生方からしたら、もうしていますと思うのではないかと思った。先生方がよければどちらでも大丈夫だが。

学校再編推進室主幹
教育長

形として、この計画をもって作成しますの方が良い。今の意見を振り返って、7ページの（3）はどうするのがいいか。

山本委員
教育文化部長

自分としては、これだけ書いてあれば十分かと思った。見る人が見ると、これが書いてないとなりがちな話。

学校再編推進室主幹

これは牧之原小中学校の人以外も見る。これだけやっている

というのを見せるのもいいかという気持ちもする。ただ、保護者が読んだときに、分かっていることがいっぱい書いてあると思うことも分かる。一旦（3）を入れてみて、バランス的にいらないとなれば抜く形でどうか。

近江委員

2番の9年間のカリキュラムで、小学生が部活に参加できるようになるとある。小学生が部活をやるとするのは個人的には賛成でないが、先生方はどう思っているのか。現場の先生方が一番判断できることだと思う。ここにあって書くのか書かないのか。

学校再編推進室主幹

検討部会の時には、皆さんから小学生が部活に参加できるようになると良いよねという話があった。ただ、部活動の地域移行を進めている中で、今は微妙な書き方をしている。書くのを止めてもいい。

教育長

地域展開の話もあるが、市長が青森県三戸町を訪問した時に、小学校5、6年生が吹奏楽を一緒になって行っていた。中1から始めるのと小学校高学年から始めるのでは、特に楽器などは上達のレベルも変わるので良かったという話。良さもあるし、指導面では先生方の混乱も出てくる。やるとなると難しい。

学校再編推進室主幹

保護者としては、例えば吹奏楽を5年生から一緒に練習できるとなったらいいなどはあるか。

山本委員

ありがたいはありがたい。今の中学校1年生がバレー部にまとまって入った。やると決まっているなら、最後の半年は3年生が抜けて1年生が試合に出ないといけないこともあるので、そういう中で選択肢として1か月前から部活に参加させてもらうなどが可能なら良いと思う。やれるやれないは別として、書いてあることは良いのではないか。

教育長

榛原・相良は別として、牧之原小中学校の規模だと、良さの方が出てくると思う。

学校教育課教育コーディネーター

実際に、剣道は1年生が1人しかいなくて、個人戦しかできない。野球は合同部活動なので、何人かいるが、牧之原市に1チームで、入ってくれば必ず参加できる。充実しているのはバレー部。バレー部はまとまって入ってくれたので、学校の部活動として、チームとして存在する。榛原中は逆に人がいなくて、榛原中の子が一緒に入って合同チームになるが、どちらかと言えば牧之原中だけで単独でやっていきたいとい

う思いでいる。これから先の数年間はそう考えている。ただ、ゆくゆく数が減っていくことは当然考えられるので、地域展開をどうしていくかをこれから検討していく。どちらにしても分母がいないと、中学校だけでは部活の存続は難しい状況。牧之原小中学校だけでなく、他もみんなそうなので、ゆくゆくは小学生も、もっと言うと高校を卒業しても終わりじゃないという形に増やしていかないと、存続しなくなるのではないか。その種目の分母を増やさないと活動がなくなってしまうので、その辺は今度新しい検討委員会では検討していくが、それに直結するかは別にしても、牧之原小中学校の場合については、ここに記載したから改善されるかどうかは何とも言えないし、学校側もここにあまり重きを置いていない気はしている。これがあるからありがたいという感じではなかった気がしている。ただ、書いてあって困るということもない。あくまでも小学生は大会に出れないので、ずっと一緒にやるというイメージではなくて、やれる子はどうぞという感じなので。

学校再編推進室主幹
近江委員

とりあえずは残しておくということでもいいか。
掛川を見ても、学校内から部活動という言葉はなくなる。藤枝もそう。

学校教育課教育コーディネーター

広島は部活動の地域展開を全くしていない。これは地域性か。静岡県は国から言われていることを進んでやっているので、掛川も大々的に部活をなくすと言っている。果たして本当にそれが正しい方向なのかどうかはわからないが、全体的にはそういう方向に行くかと予測している。

近江委員
山本委員

広島は部活動について感覚が違うなと思った。
牧之原市はグラウンドもできたし、クラブチームが充実しているので、率先的にということもあると思うが、どちらにせよ部活動は自然になくなっていくのでは。

学校教育課教育コーディネーター

既に牧之原小中学校の場合については、それに特化した子はそこにどんどん行っているので、それが進んでくるんじゃないかという気がする。

山本委員
近江委員

サッカーやダンス、バレエも、やりたい子はどんどんやっている。載せることについては、自分は全然いいと思っている。選択できるということであれば記載してもいい。勘違いする

親もいるので。

教育総務課長

1 番については、そのような記載とする。

2 番、13～15 ページについてご意見をお願いしたい。

近江委員

(1) の「リアルな体験」が気になる。リアルでない体験があるのか。その後の文章の中で、地域とつながりを持ちながら直接体験をしていくということかと思うが、何か良い言葉がないか。

学校再編推進室主幹

実体験など言い方はあるが、文科省ではリアルとオンラインという言葉を使っている。バーチャルとかオンラインとかでないちゃんとした現実世界でやるということを訴えたい。

近江委員

オンラインとの対比ということか。わかった。

「オンラインで社会とつながる」とあるが、牧之原市も菊川市も多文化共生を進めている、菊川市は、35 か国から3900 人の外国人が住んでいる。なので、オンラインじゃなくてもいくらかでも交流できる。オンラインでできることもあるが、オンラインにこだわらなくてもいいのでは。特に小学生は、対面での交流やお話をするなどの活動の方が、より望ましいという感じがする。対面の活動だけでなくオンラインも積極的にということで、対面の活動もあるが。

学校再編推進室主幹

多文化共生の視点で書いているものがなかったが、今ここにいる人との交流もあると思うので、リアルな体験のところ、「地元企業との体験学習」の後ろに、牧之原市や菊川市在住の外国人との交流などということで、ここもナナメの体験になっていると思うので、そういうところに、対面での実際の体験を入れたらどうか。オンラインはより広範囲につながるということに特化したいと思う。(1) の後半に、「在留外国人との交流」を付け加える形。

近江委員

政党によっては多文化共生を否定しているような流れもあるが、多文化共生という考え方は子供たちに理解してもらいたいし、それは市の施策にもつながると思う。地域のリアルな体験は、狙うところは多文化共生でもないような気がする。オンライン「等」で世界をつなぐなど、その中に在住外国人との交流なども含めたらどうか。

教育長

「世界とつながる」というのは、今そこに住んでいる人ではないところとの世界。後半は人々との交流なので、今住んでいる外国籍の人たちも含んだ交流と思うが、そうでない人たちも含めた交流ということか。

近江委員
学校再編推進室主幹
そこはどちらでもいい。
地域の中には日本人も外国人も入っているという認識でいるので、リアルな体験というのは、そこに外国人を入れておかないと、逆に特化して書くことで区別しすぎになってしまう気がする。であれば、地元企業との体験学習の後に入れておくとか、分かりにくければ方向性のところに特化して書いておくのもありかと思っている。多文化共生は大事だと思うので。ただ、当たり前ここに置いてほしいというのもある。

山本委員
学校再編推進室主幹
地域住民に外国人も入っているので、この書き方でいいと思う。
(1)は対面や実際にお茶を摘むなど、体験してやってみるということ、(2)はバーチャルやオンラインで、この場で対面できない人とつながるということで、ここでは仕分けをしたい。多文化共生や、そういうジャンルごとの分け方も、計画なのでやろうと思えばできるが、今回体験の種類で分けているので、構成を変えるとすると難しい。もっと上の教育振興基本計画くらいのもになってしまう。

教育文化部長
教育長
今回これは小中一貫の推進計画なので、あまりメニューに入っていない方がよい。
小中一貫教育で何をやっていくか。〇〇教育と付くものは山ほどあって、今度は環境教育も大事などと項目出ししていくと色々なものが入ってきて、かえってわかりにくくなる。体験の中にはそうした外国人の住んでいたり働いている人たちとの交流がある。これまでも地元企業の社員とも交流している。

学校再編推進室主幹
山本委員
近江委員
14 ページの上から 2 番目で、「地域住民と地域のことや多文化共生を学ぶ体験」とすれば、地域住民と多文化共生と並べば、そこに外国人も入っているとならないか。
このままでいいのではないか。
コミュニティスクールの一番下の方で、教育課程をしっかりと議論できる会議とするとあるが、こういう風な会議をするにはどうしたらいいかと思う。やり始めたらなかなか難しいことだと思う。

学校再編推進室主幹
学校運営協議会の役割としてそこを求められているということがある。なかなかそこまで学校運営協議会でやっているところはないが、だからこそこの牧之原小中学校で望ましい学

校運営協議会の形を試行的にやってみたい。教育委員会も関わって、こういう会議で、こういう人が入ってということをやって、最終的に会議を作っていきたい。役割としては既にあるが、一足飛びには行けないので、目指していきたい。

教育長 校長がこの辺をかなり意識して、協議会の活性化を目指す姿勢でいないと。

近江委員 目指したいけども可能かなと心配した。

学校再編推進室主幹 教育委員会としても目指したいということで記載したい。相良や榛原よりも、牧之原で一番にこれを実現したいと思うので、書かせていただきたい。

教育長 これは学校間の差もかなりある。委員さんが積極的にこうした方がいいと言っているところもあるし、そうでなくて学校から言われたことでそうですかと終わってしまうところもある。牧之原小中学校は、先行して小中一貫教育を進めている学校として、こういうところで理想を高くしてやっていきたいところではある。

教育総務課長 2番はよろしいか。
(全委員意見なし)

教育総務課長 3番はいかがか。
(全委員意見なし)

教育総務課長 4番はいかがか。

近江委員 希望だが、特に渡り廊下の設置のところで、基本的には耐震性のそれぞれ違う建物をつなぐので、固有振動数も違うわけで、大きな地震が来た時に、外側に取り付けた階段が取れてしまうということが、振動数が違うので当然そうなるわけだが、耐震性をどう保持できるかがすごく難しいかと思う。あとは利便性。基本的には2階に設置できれば一番いいと思うが、その辺を十分に検討して決めていただきたい。

学校再編推進室主幹 利便性を考えると2階をつなげたいが、穴を開けてつなげると、校舎の本体自体が本当に大丈夫なのかというところや、下に給食室もあるので、そこに渡り廊下を通して大丈夫かというところは、専門的に調べてみないとわからない部分がある。今回、この計画が策定されれば、どこをつなぐか、ここをつなげた場合に耐震性がどうか、またどのくらいかかるのかということ、今年度にパターンで比較検討できるようにして、来年度に実施設計を行いたいと考えている。安全面が第一なので、総合的に判断できるようにしたい。

教育長 具体的にこうしますというのは書けないので、このような表記にさせてもらって、今のようなことを十分検討する。

山本委員 建物について、今更になってしまいが、児童生徒の人数が減っていて、そもそも中学校がいらないんじゃないかと思ったりもする。学校の先生から見て、特別教室もあるので難しいとは思いますが、小学校だけで行けるんじゃないかという意見は今までなかったか。

学校再編推進室主幹 中学校の方が新しいので、中学校に全部入らないかと思ったことはあるが、中学校では若干入らないかと思っている。例えば、4-3-2を意識するのであれば、一部中学校に行くなど。

山本委員 それだと結局つなげなければいけないので、中学校をなくしてしまえば、そもそも校舎をつなげなくてもいいという話。食堂など色々あるので難しいと思うが、小学校だけでクラス数は足りると思う。

学校再編推進室主幹 逆に中学校を残して、足りない分だけ増築するぐらいの方が。山本委員 そちらの方がコスト的に良いということであれば。ただし、つなげる方が安いと思う。

学校教育課教育コーディネーター 例えば中学校を壊してそこに保育園を建てるなど、先を見た時に色々やれるのではないかという気がした。基本的にこれまでそういった話はなく、つなげる方向でいいということか。

山本委員 特別教室が足りなくなる。特別支援学級の設置も増えるので、なかなか難しいかという気がする。

永田委員 小学校は、自分が6年の時にできている。増築もしているが、かなり古い。なので小学校は取り壊して、中学校をベースに増築した方が良さそうな気がする。

山本委員 新しく建てるお金があればやっていると思うし、建てるぐらいなら牧之原の子たちも榛原相良の義務教育学校へ通わせた方が良さと思う。

永田委員 今の小学校を残して中学校を壊すのは難しいと思う。

山本委員 15ページの3(1)の2行目に、一人の校長が小中学校を統括できる体制とすると書いてある。9ページでは校長は一人にしている場合もあるということで、一貫校は基本2人というニュアンスで今まで進んできたと思うが、ここを見ると、開校した時には1人にすると捉えられる。

学校再編推進室主幹 9ページは制度的な説明をしていて、牧之原小中学校はこう

高台開発で企業が増えると流れも変わると思うが、企業のバスに児童が乗っている地域はあったりするのかな。

学校再編推進室主幹 飲食店でマイクロバスを持っていて、そこだけ地域協力で運転してもらえるところがあればすごく良いのだが。

山本委員 矢崎などで既存のラインがあれば良いが。

学校再編推進室主幹 矢崎のバスは菊川駅だけ。今度金谷駅が追加できるかという話はあるが、こちら側には何もない。バスについては、継続的に検討して、開校までには何とかと考えている。

山本委員 丸尾原方面の遠距離通学の子どもたちは、今は水神社まで車で送ってもらって、そこから歩きだと思う。そこが集合場所になっていると思う。水神社より向こうの子どもは人数としてはかなり少ないので、その子たちのために予算を付けてというのも、もったいないという感じがしなくもない。

学校再編推進室主幹 デマンドタクシーなどもあるが、どれが一番いいのかは検討しないと分からない。

教育長 そこは課題になっているので、表記のとおり手立てを考えているという形で載せさせてもらう。

永田委員 水神社以降、南の方には歩道がない。車が走ってくる場所の隅を子どもたちが歩いてくるので、すごく心配。歩道を作るということを並行して進めてもらいたい。ほとんど歩道がないところを歩いてくるというのは少ない。

学校再編推進室主幹 費用的にはバスを購入した方が抑えられそう。バスを何とかしたい。

山本委員 後半の渋滞のところは、この書き方でどうか。

教育長 ここはこう入れておいてもらえればいい。前回あいさつ運動の日が雨だったのでちょうど良かったと思うが、結構危ない。

学校再編推進室長 交通安全対策は、PTA側から学校に、何とかならないかということと一緒に考えて考えられれば。保育園も一緒なので。

山本委員 交差点の形状がよくない。池の方の道は封鎖されたのか。過去に事故もあった。通勤の時間と通学の時間が重なって、歩道もないので、危ないということでは止まったのだと思う。

教育総務課長 他はよろしいか。

(全委員意見なし)

教育総務課長 大きい5番、17～18ページはいかがか。

(全委員意見なし)

教育総務課長 ページを戻って、大きい2番の(1)(2)はどうか。

近江委員 特に細かな分野に入り込んだ表記にはしなくていい。ここは

学校再編推進室主幹

リアルとバーチャルという対比ということが分かったので、無理に多文化共生という言葉は入れなくていい。修正箇所をおさらいしたい。4ページに富士山型ネットワークの注釈を入れる。6ページの表を7年度の数字に変えて、8年度以降が推計になる形に直す。8ページ(3)に保育園との接続を入れて現状の取り組みが分かるようにする。9ページで、6年から9年と縦の長さが変わる、縦と斜めが変わることによってどのようなことが変わるのか、どのように横に影響するのかというところをもう少し書き込む。3番の3行は残し、後半部分を箱に出す。箱には、今の牧之原小中学校がこういう状態で、一貫校になるとこう変わる、義務教育学校とこう違うということを簡潔に入れ込んでいく。13ページの架け橋期のプログラムに注釈を入れる。

教育文化部長

近江委員

山本委員

教育総務課長

全体に関わるところで、表紙に協力平の石碑の写真を入れたらどうか。折角なので、牧之原小中学校らしい何かをタイトルのところに入れて、中のバランス的に空間が空いたところに写真を入れ込んでいくのもありかと思う。

5ページの余白に協力平もいいと思う。

土地をみんなで耕している写真でもいい。

協力平のダンスの決めポーズの写真もいい。運動会や文化祭で踊っていると思う。

今回ご意見をいただいたところの手直しをして、次回18日に集まっていただく前に、修正したものを皆さんに見ていただく。それを18日に持ち寄ってまた意見をいただくとなると、その会議の中での決定はなかなか難しいと思うので、修正したものを送った中で、事前にご意見をメール等で送っていただく。それを踏まえた形のもので18日に叩いていただいて決めていくという形にとしたい。非常にタイトな日程の中でご面倒をおかけするが、よろしく願いしたい。

教育長

教育総務課長

教育長

保護者からは意見をいただくだけか。

それも踏まえながら、修正等必要な部分があれば対応する。

委員にはこれまでの経過をベースにしながら見てもらっているが、保護者からは結構違う意見が出てくると思う。そこは取捨選択して。中には全然違う要望なんかも出てくると思う。

学校再編推進室主幹

そこは意見が来たら精査して、どうしても反映した方が良いというものがあれば相談する。

教育長

保護者の方にもここまで来ているということを理解していた

だいく。

永田委員

全体的に読んで感じるのは、〇〇などという表現が多い。するとともにという表現も多い。これだけ書いているので、などはなくても。その方が読んだときにすっきりする。まだ何があるのかと思ってしまう。文章を読むときに読みづらいような気がする。言い切ってくれた方が、読む方としてはわかりやすい。

学校再編推進室主幹

取れるところは取る。行政としてどうしても残したいところは残させていただく。

閉会（閉会時刻 午後3時23分）